

★★親子で納得

ニュースな経済学



経済ジャーナリスト・内田裕子

会社の決算発表のシーズンになりました。新聞やニュースでは「赤字」という言葉が飛びかっています。みんなも感じている通り、いま、会社の調子がとっても悪いので、決算の内容はかなりひどいことになっています。

決算というのは、会社の成績表のことです。株式会社は1年間でどれくらいお金を使って、どれくらいもうかったのか、みんなに発表します。でも、どうして株式会社は自分の成績表を発表しなければならないのでしょうか。

株式会社はたくさんの人にお金を出してもらって運営しています。お金を出している人のことを「株主」とよびます。「株主」は自分たちのお金が、その会社でちゃんと使われているかを知る権

会社の信頼得るために決算を発表

利があります。

株主でなくても、その会社の中身が元気かどうか分からなかったら、お金を貸したり、いっしょに仕事をしたりできなくなります。だから、決算を発表する会を開いて、もうかったのか、もうからなかったのか、その原因はなぜなのかを、説明をして、社会に信頼してもらおうとするのです。

「赤字」というのは、マイナスという意味です。会社の決算がマイナスというのはどういうことでしょうか。会社がもうけるためには、まずは投資が必要です。実験をしたり、工場をたてたり、材料を買ったり、社員にお給料をはらったり。商品売るために宣伝をしたり、たくさんのお金をかけたりして会社はモノをつくるのです。そのモノを大ぜいの人に売ること、投資したお金を回収するのです。でも、モノが売れなかったらどうでしょう。1億円投資をして、8000万円しか売れなかったら、2000万円マイナスになりますね。これが「赤字」ということです。



マスコミに向け決算発表をする経営者

赤字が続くとどうなるのか。会社の社長が責任を取るようになったり、みんなのおうちのボーナスやお給料がへったりします。商品の生産がストップしたり、世の中に悪い影響を与えます。でも、来年の決算は今年よりよくなると予想されています。暗い中にも光が見えてきているのですね。

プロフィール 玉川大学芸術学部専攻卒業後、大和証券に入社。2000年に財部誠一事務所に移籍。製造現場の取材や経営者のインタビューなどの仕事をこなす。テレビ出演、執筆、講演活動を通じて経済の情報を伝えている。ウェブサイトは、<http://www.takarabe-hrj.co.jp>